

< 介護・医療連携推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	こぶし 24 時間ケアサービスステーション三和
所在地	(〒 940 - 1151) 新潟県長岡市三和3丁目138番地2		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

24 時間 365 日営業。必要な人に必要なサービスを提供し、その人の築き上げた暮らしを支えていく。
情報共有にはタブレットを使用し、多職種連携にも活用している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2019年 10月 1日	従業者等自己評価 実施人数	(7) 人	※管理者を含む
----------------	-----------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2019年 10月 25日	出席人数 (合計)	(14) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (2人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1人) <input type="checkbox"/> 利用者 (1人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (3人) <input type="checkbox"/> その他 (4人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		(平成 30 年度に向けて) 前回の改善計画	(平成 3 1 年度) 実施した具体的な取組	(平成 3 1 年度) 進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)			<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域での生活を支える為、質の良いヘルパー選ばれる事業所になる様に、研修に参加、個々に目標研修計画を立て、日々の援助に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の目標、研修計画を考えながら、日々の援助を行った。 ・同行訪問を行い、統一したケアに努めた。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)		<ul style="list-style-type: none"> ・その人らしく生活が継続できるようにケアプランに沿って介護計画書を作成した。 ・体調の変化、特変時にはすぐにケアマネ等に連絡をし対応する様にした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング時に援助の確認を行った。 ・タブレットを活用し、情報共有ができ、他のサービスの様子が分かり、また看護と連携ができるようになった。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)		<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを活用し、他事業所との連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネともタブレットで、連携が図れており日々の様子も伝わりやすくなった。 ・多職種で定期随時の理解をもっと深め、またタブレットの有効な使い方を検討していく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28～32)		<ul style="list-style-type: none"> ・開設前に、左近、平島の公民館へ行き、地域の方に説明会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開設してからは、説明会など行えず、今後定期的に地域の方など説明会を行い、理解を深めて行きたい。 ・地域の行事なども参加し、関係性を築いていきたい。

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 33～34)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・一日複数回訪問させて頂いてる利用者が多いので、タブレットで申し送りを行い、細かい援助を行う様にした。 ・質の良いヘルパー、援助を目指し、各研修への参加、サービス提供責任者と同行援助を行い、統一したケアに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状態に合わせて随時訪問を行い、対応している。 ・特に夜間帯はヘルパー一人で訪問をしており、コールなどの呼び出しにすぐに対応する事が難しい事もある。 ・
---------------------------------	--	---	--

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	(平成31年度) 評価結果	(令和2年度に向けて) 改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別計画にそって各々進める事はできていたと思う。 ・年間事業計画書は計画通りに行かない事が多かった。地域交流、啓蒙活動を上げていたが、時間的余裕や機会を設ける事ができなかった。 ・個々の情報共有はタブレット内で出来ているが個々のカンファレンスが出来なかった。 ・災害時等の避難訓練をセンター内で行っているが職員全員が設備などしっかりと把握する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別計画に沿って出来るだけ外部研修に参加できる様にする。 ・個々の情報共有の他に個々のカンファレンスが行える様に計画的に実行できるようにする。 ・センター内で行っている災害等の避難訓練の際は、参加した事のない職員に参加してもらい、設備の等の確認をしてもらう。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	<ul style="list-style-type: none"> ・変化に応じた急な受診、体調不良時には随時訪問で対応出来た。体調不良時などは看護に連絡を入れ対応した。 ・職員間で差が出ないよう援助内容の見直しを随時行うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の対応の確認、見直しを行い、迅速に適切な対応が出来る様にする。 ・定期的に、援助内容の見直しをし職員間で差が出ないよう又、統一した援助が行える様にする。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネットでの連携で情報共有が出来ている。早急に対応が必要な時、細かい情報は連絡を入れるようにした。 ・他の事業所や訪問看護より、タブレットのコメントなどを通じて連携を取った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様に状態の変化時には、看護へ連絡したりタブレットを活用して連携を図っていく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28～32)	<ul style="list-style-type: none"> ・啓蒙活動などを目標に課題に上げていたが、時間的に余裕がなくてできなかった。啓蒙活動だけでなく、地域行事の参加などできればよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事の参加だけでなく、事業所の行事、災害の訓練など参加出来る様に企画し交流を図りたい。
III. 結果評価 (評価項目 33～34)	<ul style="list-style-type: none"> ・開設して1年が経ち少しずつ事業所を認識してもらおう事が出来てきた。 ・ご利用者、家族の方に、一日に何回も来てもらったり緊急時 	<ul style="list-style-type: none"> ・開設して1年が過ぎたので、事業所の満足度調査を行う。 ・サービスの質の向上に繋げる為、引き続き、園内や外部研修への参加をしていく。 	

	にも訪問してもらえてよかった、とお言葉を頂いた。これからも、ご利用者、家族が望む生活が維持出来るように、より良いサービスの提供に努める。	・ご利用者個々のカンファレンスを定期的に行い、在宅生活、が継続できるように多職種での連携、意見の交換を行う。
--	--	--

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します